

令和5年度 地方創生関係交付金事業

地方創生関係交付金の種類		事業目的・概要								
地方創生拠点整備交付金		レインボーライン山頂公園は、美浜町・若狭町にとっては共通かつ随一の観光スポットであるが、1991年度の104万人をピークに年々入込客数が減少しており、2017年度の入込客数は約28万人となっている。入込客数の減少は、山頂公園だけでなく、周辺の観光施設や宿泊施設の利用者数の減少につながり、地域経済に大きな影響を及ぼしている。山頂公園の課題としては、風雨をしのぐ建築物等が少ない、気温や天候によって観光客が大きく落ち込む、くつろげる場所が少ないことから、訪問者の滞在時間や売店等での消費額が少ないことが挙げられる。そこで、レインボーライン山頂公園からの景観を生かした、展望建屋、山頂カフェ、山麓レストランなど全天候型・滞在型施設を整備し、山頂公園を通年で人々が集う観光交流の拠点とするとともに、カフェやレストランにおける消費や滞在時間の延長につなげる。また、この山頂公園を拠点として、両町をはじめ福井県内の観光施設や文化施設との連携を強化して観光周遊ルートを再構築するとともに、両町や福井県、近隣自治体と連携したプロモーション活動を積極的にを行い、観光客の周遊性の向上や両町での滞在時間延長を図り、地元の漁家民宿等の宿泊施設利用者の増加など地元消費の拡大につなげ、福井県全体の賑わいと交流人口の増加を目指す。								
地域再生計画名										
三方五湖に浮かぶ天空テラス整備計画 ～自然・人・文化をつなぐ天空の架け橋～										
No.	交付金対象事業名称									
1	三方五湖に浮かぶ天空テラス整備計画 ～自然・人・文化をつなぐ天空の架け橋～									
実施事業名		総事業費	交付金対象費	財源内訳			実施内容			
				交付金	その他	一般財源				
1	三方五湖に浮かぶ天空テラス整備事業（R1事業）	152,635,950	149,062,393	74,531,196		78,104,754	山頂公園全体を大きく4つのエリア（中央エリア：山頂カフェ・トイレ・五湖テラス、東エリア：美浜展望建屋、西エリア：若狭展望建屋・茶屋テラス、山麓エリア：山麓レストラン）に分けて、それぞれ特徴ある空間整備を行う。整備主体を(株)レインボーラインとし、美浜町と若狭町で折半して整備費を補助する。整備後も、美浜町・若狭町と(株)レインボーラインが連携し、山頂公園を活用した誘客拡大や地産地消の促進等による農業・漁業の活性化に取り組む。			
重要業績評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終値
1	整備する山頂カフェおよび山麓レストランの売上	千円	13,250	目標値	0	23,250	28,250	33,250	38,250	38,250
				実績値	0	40,051	36,731	56,470	74,592	74,592
2	山頂カフェや展望建屋を整備するレインボーライン山頂公園の入園者数	人	125,430	目標値	0	165,430	195,430	225,430	255,430	255,430
				実績値	0	178,822	163,998	200,526	259,330	259,330
3				目標値						
				実績値						
事業効果		地方創生に非常に効果があった。								
今後の方針		リニューアル効果で30年前のピークに近い売り上げ規模となっているほか、山頂公園の来園者数は20万人を突破するようになった。今後は北陸新幹線敦賀開業を契機に、三方五湖レインボーラインという観光資源をさらに磨き上げるとともに、情報発信力と営業力を一層強化して、国内外の観光需要に即応していく。								
評価		官民協働、広域連携の成果もあって、着実に実績を伸ばすことができていることに関係機関の努力を感じる。本整備と関係機関の努力により、レインボーライン山頂公園はとても素晴らしいエリアになった。嶺南地域でもトップクラスの知名度になっていると評価する。								

令和5年度 地方創生関係交付金事業

地方創生関係交付金の種類		事業目的・概要								
地方創生拠点整備交付金		若狭町の代表産業である観光は、1990年代をピークに入込客数が減少している。この要因として、観光ニーズの多様化と旅行スタイルの変化に合った取り組みや整備がこれまでできおらず、官民協働や広域連携による地域資源の利活用が十分なされていなかった。								
地域再生計画名		本事業は、若狭町・美浜町・(株)レインボーラインが連携し、レインボーラインが四方に三方五湖と若狭湾、大規模なリアス海岸が眺められる類い稀な立地特性を持ち、恋人の聖地として愛を繋いできた場所、また若狭地域は古代から御食国(みけつくに)として交易の拠点として栄えた歴史を踏まえ、地域内外の子どもからお年寄りまで多くの人々が集う観光交流拠点として、また、三方五湖エリアの魅力を発信する拠点として、さらに観光まちづくりのきっかけとなるよう、「自然と人と地域を繋ぐ」をコンセプトに整備する。								
No.	交付金対象事業名称									
1	かがやきのその先に「神秘の湖」広がるレインボーライン整備計画～自然・人・文化をつなぐ天空の架け橋～									
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財源内訳			実施内容			
				交付金	その他	一般財源				
1	かがやきのその先に「神秘の湖」広がるレインボーライン整備事業 (R3事業)	252,648,354	245,907,254	122,417,246		130,231,108	<p>急激に増加している観光客数への対応や、より多くの地域特産品を取り扱うために、売店トイレ棟 (65㎡) を撤去し、108㎡に拡大させた施設を新築する。</p> <p>また、増加する観光客対応、特に観光バス客の昼食場所として提供を可能とするため、三方五湖が見渡せる場所にレストラン棟を新築することで、混雑緩和やニーズに応えることで顧客満足度の向上や滞在時間延長による消費単価の増加に繋げる。</p>			
重要業績評価指標 (KPI)		単位	事業開始前	KPI	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終値
1	新築するレストラン及び売店の売上	千円	51,044	目標値	0	78,500	89,300	97,300	105,300	105,300
				実績値	0	88,073	117,857			117,857
2	新築する売店での地元産品の取り扱い商品数	商品	655	目標値	0	905	1,105	1,305	1,505	1,505
				実績値	0	629	659			659
3	レインボーラインの入込数	人	375,461	目標値	0	517,100	543,100	563,000	583,000	583,000
				実績値	0	394,208	445,350			445,350
事業効果		地方創生に非常に効果があった。								
今後の方針		リニューアル効果で30年前のピークに近い売り上げ規模となっている。今後は北陸新幹線敦賀開業を契機に、三方五湖レインボーラインという観光資源をさらに磨き上げるとともに、情報発信力と営業力を一層強化して、国内外の観光需要に即応していく。								
評価		情報発信の強化による効果で、メディアで見る機会が増えたと感じられる。コロナ禍の影響が残る中で、売上、入込数ともに着実に実績を伸ばしており、来場者にも評価されているものと思われる。特に休日の活気は素晴らしく、今後のさらなる地域活性化に期待する。								